

老健

一般社団法人 静岡県老人保健施設協会機関誌
ROUKEN SHIZUOKA

2026
No. 30

かおるし

《特集》

高齢者施設従事者研修会

高齢者ケアで

心がけたい

感染症の予防

第19回

東海・北陸ブロック

老健大会 富山

第36回

全国介護老人保健施設大会

山口

部会報告

防災部会

看護・介護部会

栄養部会

リハビリテーション部会

通所リハビリ部会

令和7年度 事業報告

令和8年度 年間計画

静岡県 介護施設一覧

ご挨拶



一般社団法人
静岡県老人保健施設協会 会長

小出 幸夫

会員の皆様には、日頃より当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、地域の高齢者を支えるため、老健施設の現場で日々ご尽力されている皆様に、深く敬意を表します。

老健施設は「在宅支援・在宅復帰」を基本理念とし、医療的ケア、リハビリテーション、さらには看取りまでを含めた切れ目のない支援を提供する施設です。医療と介護の中間施設として地域包括ケアシステムの中で重要な役割を担い、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための大きな支えとなっています。

一方で、老健施設の経営環境は大変厳しい状況にあります。厚生労働省の介護事業経営概況調査（2024年度）によれば、老健施設の約49%が赤字であり、ほぼ半数の施設が

赤字経営という深刻な状況です。その背景には、食材費や光熱費などの物価高騰、介護報酬の伸びの不足、さらにはコロナ禍以降の利用率回復の遅れなどがあります。加えて、介護人材確保のための処遇改善や賃金引き上げの必要性も高まっており、現場の努力だけでは吸収しきれない課題となっています。

こうした状況を踏まえ、政府は令和7年度補正予算において「医療・介護支援パッケージ」を打ち出しました。処遇改善としては、令和9年度の定期改定を待たず、令和8年度に介護報酬の期中改定が予定されており、改定率は2.03%とされています。これにより、介護職員で月1万7千円、全職員平均で月1万円程度の賃上げ財源が確保される見込みです。

また、物価高騰対策として「サービス継続支援補助金」が設けられ、設備・備品購入などに対して老健施設には1施設60万円、さらに食材料費支援として180万円が補助されます。定員100床の施設では合計240万円の支援を受けることが可能です。加えて「重点支援地方交付金」は総額2兆1000億円が措置されていますが、配分は自治体の判断によるため、静岡県としても十分な配分がなされるよう働きかけていくことが重要です。さらに「介護テクノロジー・協働化・経営改善等支援事業」（220億

円）では、テクノロジー導入の補助率が従来の4分の3から5分の4に引き上げられており、ぜひ積極的な活用をご検討いただきたいと思います。

また、令和6年度制度改正により、入所者急変時に相談対応、診療、入院受け入れを担う協力医療機関の確保が求められることとなりました（令和9年3月末までは努力義務）。老健施設での設定率は令和7年3月時点で61.6%、同年10月時点で68.5%と着実に進んでいます。今後も静岡県と連携しながら、地域の医療機関との協力体制の強化を進めてまいります。

最後に、医療人類学・精神医学の世界的権威であるアーサー・クラインマンの言葉を紹介します。

「ケアとは、相手の世界を理解しようとする姿勢である。」

老健施設の仕事は、利用者一人ひとりの人生に寄り添い、その人らしい生活を支える尊い仕事です。会員の皆様の献身的な取り組みこそが、地域の高齢者の安心と希望を支えています。

これからも皆様とともに知恵を出し合いながら、静岡県の老健施設の役割と価値をさらに高め、地域包括ケアの充実に貢献してまいりたいと存じます。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



静岡県健康福祉部福祉長寿局
(福祉指導課長)

鈴木 立子

日頃より、貴会及び貴会会員の皆様には、
本県の高齢者保健福祉推進に多大な御尽力を
いただき、厚くお礼申し上げます。

令和7年度は、台風第15号やこれに伴う
竜巻により、牧之原市、掛川市、吉田町を中
心に大きな被害が生じました。被害に遭われ
た施設等におかれては、高齢者の安全確保や
健康維持のために大変な御苦労をされたこと
と存じます。心より、お見舞い申し上げます
とともに、その御尽力に対し、深く敬意を表す
るものです。

また、昨年8月には新型コロナウイルス
の感染拡大、秋以降は2度にわたってイン
フルエンザが警報レベルの流行となる等、各
施設では対応に奔走されたと存じますが、日
頃からの取り組みの見直し等の機会にもなっ

たと思います。引き続き、入念な対策をお願
いいたします。

さて、物価高騰が続き、様々な方面に影響
が生じています。国では、この物価高への対
応等のため、「強い経済」を実現する総合経
済対策」を発表し、これを受け、県では、急
激な物価高騰の影響を受けながらも、高齢者
に対するサービスを安定的に継続している介
護老人保健施設等に対し、支援金の支給など
を行うこととしております。

更に、介護施設では人材不足が厳しい状況
にあることから、人材流出を防ぐための緊急
的対応として、国では、令和8年度に処遇
改善加算を中心に介護報酬の改定を行いま
す。

このほか、県では、外国人介護人材の受入
れ支援のほか、介護生産性向上総合相談セン
ターを設置し、ICT導入の相談等に対応す
るなど、介護サービスを持続的に提供するた
めの体制構築や維持に向けた動きを支援して
おります。

災害、感染症、物価高など厳しい状況が続
きますが、介護保険制度の維持と質の高い介
護サービス提供には、貴会並びに貴会会員の
皆様との一層の緊密な連携が不可欠です。今
後とも、全ての高齢者が安心して心豊かに暮
らせる地域社会の実現に向け、皆様方により

一層のご理解とご支援を賜りますようお願い
申し上げます。

挨拶ページに出てきた

KEY WORD を 解説!

01 介護職員・従事者の大幅な賃上げ支援

02 物価高・光熱費高騰への継続・サービス継続支援

03 生産性向上とICT・テクノロジーの導入支援

概要

- 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業
- 介護事業所・施設のサービス継続支援事業
- 介護テクノロジー導入・協働化・経営改善等支援事業
- 訪問介護・ケアマネジメントの提供体制確保支援事業



サービス継続支援補助金

静岡県R8.4.21申請受付を終了

(都道府県や市町村が医療・支援パッケージの財源を活用)

医療・介護等支援パッケージが財源(厚生労働省)。この補助金は、全国の都道府県に交付。一つの事業所あたりの定額ではなく、老健や特養などの施設系は、ベッド数(定員)に応じた掛け算で上限額が計算されるのが特徴。訪問介護などの場合は提供体制の規模による。

医療・介護支援パッケージ

政府の総合経済対策に基づき、補正予算を投じて作られた医療・介護・障害福祉分野の緊急救済策。通常、診療報酬や介護報酬の改定は数年ごとですが、物価高と深刻な人手不足に対応するため、「報酬改定の時期を待たず」という異例の措置として実施。介護分野における施策の柱は次の3点。

物価高対応と賃上げ、成長投資を柱にした一連のパッケージ。その中に「医療・介護等支援パッケージ」「重点支援地方交付金」「介護テクノロジー・協働化・経営改善等支援事業」が組み込まれています。

「強い経済」を実現する総合経済対策

令和7年11月21日閣議決定

令和8年度に 介護報酬の期中改定

「強い経済」を実現する総合経済対策(令和7年11月21日閣議決定)において、介護分野の職員の令和8年度介護報酬改定で必要な対応を取ることが決まり、それにより、令和9年度介護報酬改定を待たず、期中改定を実施されることになった。

改定率は+2.03%(処遇改善分+1.95%、基準費用額(食費)の引上げ分+0.09%)となる。

●注目ポイント

「職種拡大の賃上げ」と「食費の基準費用額引き上げ」

●さらに注目!

「生産性向上や協働化(特例要件)」による新たな上乗せ区分(介護職員1人あたり+月額7000円相当)が新設

「テクノロジー補助金」を組み合わせることによって「上乗せ加算(口)」を取得しやすくなる!

老健(短期入所療養介護含む)の新たな加算率(加算率は算出例です)

加算Ⅰイ(通常)・・・9.0%

▼加算Ⅰロ(生産性向上特例枠)・・・9.7%へ上乗せ

加算Ⅱイ(通常)・・・8.6%

▼加算Ⅱロ(生産性向上特例枠)・・・9.3%へ上乗せ

今から
動きましょー!



重点支援地方交付金

(介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業)

静岡県 R8.5・15 申請受付を終了

国(内閣府)が財源を用意し、全国の各自治体(都道府県や市区町村)に配る交付金。各自治体ごとに独自の仕組みで支援できるようにしている。他の補助金との「両立(ダブル受給)」が可能なことがポイント。

静岡県「令和7年度介護サービス事業所等物価高騰対策支援金(重点支援交付金)」に関するQ&A」でダブル受給については次の通りです。

Q「この支援金(重点支援交付金)と、本県の「介護事業所等及び介護施設等に対するサービス継続支援事業費補助金」及び「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業費補助金」等、他の補助金との重複申請はできるか」

A「この支援金(重点支援交付金)は、対象となる施設・事業所に係る物価高騰や、介護補助員・運転手等の賃金改善その他の施設運営に係る費用の支援を目的としています。この支援金と「介護事業所等及び介護施設等に対するサービス継続支援事業費補助金」、「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業費補助金」等の補助金の申請を行うことは可能です。ただし、支出する経費について、重複が生じないように留意してください。支援金に係る帳簿、証拠書類の保存は交付要綱に定められていますので、御確認をお願いします。」

介護テクノロジー・協働化・経営改善等支援事業

「介護テクノロジー導入・協働化・経営改善等支援事業」(220億円)の補正予算を最優先に活用。都道府県は補正予算を財源に事業を組む見通し。静岡県での補助金名は「介護テクノロジー定着支援事業費補助金」。令和8年度の県の詳細発表は現在未発表(R8.6・16現在)。これから発表される情報に注目です。

機器の購入補助にとどまらず、「介護現場の生産性向上の取組や、経営の協働化・大規模化等を通じた職場環境改善に取り組む介護サービス事業者に対する支援」

▼生産性向上の取組を通じた職場環境改善

- a 生産性向上に資する介護ロボット・ICTの導入
- b 地域全体で生産性向上の取組を普及・推進する事業の実施

▼小規模事業者を含む事業者グループが協働して行う職場環境改善



福祉用具情報システム (TAIS)

国内の福祉用具製造事業者又は輸入事業者から、「企業」及び「福祉用具」情報を収集し、情報を発信している。



秋の補助金で狙う「上位加算」

6月の体制届に間に合わなかった場合でも大丈夫です！ いつから受給開始をしたいか逆算してスケジュールを立てましょう。その際のポイントは以下の3点です。

①「見守り機器」「介護記録ソフト(スマホ等)」「インカム」の導入

加算(Ⅰ)の算定には、これら複数機器を組み合わせて導入していることが必須。

※インカムまたは見守り機器や介護記録ソフト以外の機器

②「3か月以上」の運用実績と業務時間の調査

●すでに複数種類の機器を3か月以上運用している場合：直接上位加算を狙える。

●過去の実績データが不足：補助金で機器を導入し、「加算(Ⅱ)」を3か月算定しながら成果を作り、「Ⅰ」へステップアップを狙う。

③委員会設置と定期的な実績報告

委員会の定期開催と、厚労省への年一回のデータ提出(実績報告)が必須。

複雑な申請に向けて、具体的手順などの相談、アドバイスをこちらのセンターに連絡するのもおすすめです。

静岡県介護生産性向上総合相談センター

県内の介護事業所の生産性向上と経営力強化を総合的に支援する公的機関。事業所が抱えるさまざまな課題に寄り添い、実践的なサポートが受けられ、センターの展示スペースでは、最新の介護ロボットやICT機器を実際に体験することもできます。



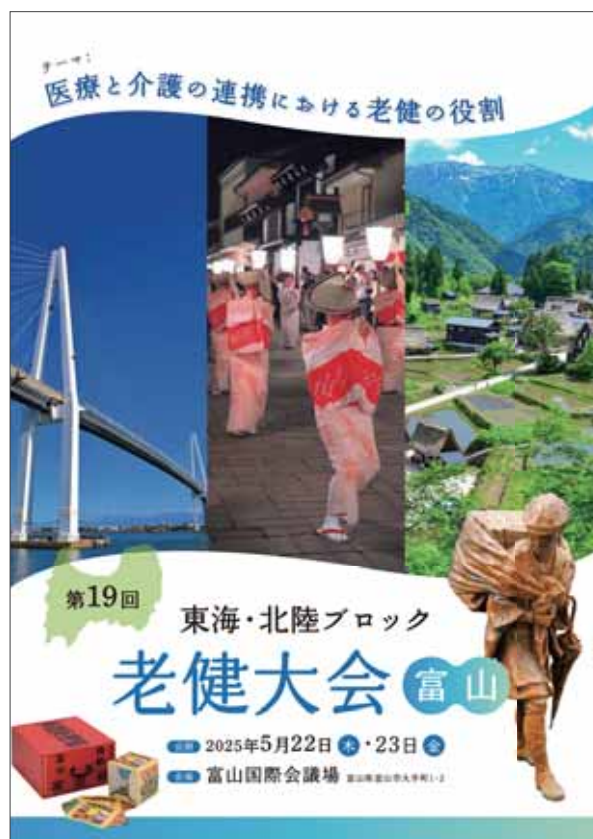
第19回 東海・北陸ブロック 老健大会 富山

メインテーマ

医療と介護の連携における老健の役割

日時 令和7年5月22日(木)・23日(金)
会場 富山国際会議場

参加者 501名(うち静岡県25名)
演題発表 72演題(うち静岡県7演題)



演題発表

県内7施設より、7演題の発表が行われました。

【座長】介護老人保健施設平安の森 鈴木 教靖

●排泄／認知症

認知症分類確定診断によるケアの専門性向上への道
(疾患別対応によるBPSD軽減に向けて)

介護老人保健施設 静岡徳洲苑
看護師 山口 芽生

●介護ロボット・AI／リスクマネジメント／その他

老健における看護学生の臨地実習を支援する
学習環境整備
(看護学生を受け入れるにあたり楽しく実習ができる
よう環境を整備する)

介護老人保健施設おひら
看護師 松井 雅美

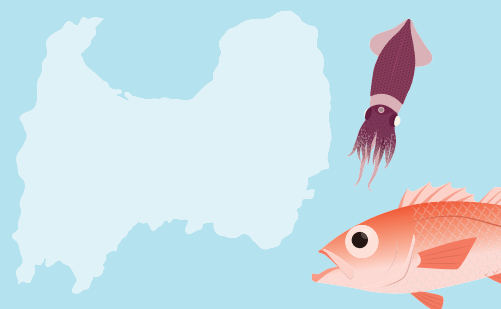


会場入り口にて 小出会長

富山県富山市の紹介

市街地から雄大な立山連峰を望む街で、白エビやホタルイカなど富山湾の新鮮な海の幸が楽しめる魅力的な場所です。「くすりのまち」として江戸時代からの伝統があり、医療や健康への意識が高い地域柄です。また、路面電車を中心とした「コンパクトシティ」の整備が整い、高齢者が車に頼らず移動できるまちづくりを進めており、福祉・環境の先進都市として注目されています。さらに、「富山市ガラス美術館」をはじめ、建築物やアートが町の随所に溶け込み、芸術的な魅力も多く感じられる場所です。

① 富山城 ② 路面電車 ③ ブラックラーメン ④ 海鮮(白エビ)





上：開会式 下：会場風景

大会の様子

富山県という静岡県からは遠い地での開催でしたが、多くの参加者と演題が集まり、大変にぎわった大会になったと感じます。演題は、専門的な知識と技術を生かした内容や、各施設で工夫を凝らした実践内容など、大変勉強になる演題が多くありました。ブロック大会は、近隣地域のみでの開催のため、親近感があり、和やかな雰囲気も感じます。全国大会にはない雰囲気がありますので、次回の三重大会にも多くの方にご参加いただければと思います。

● 整容ケア等／コミュニケーション

一人よりみんなでいる事で言葉が増えた！

介護老人保健施設桔梗の丘

介護福祉士 渡辺 瞳

● 全般的なケア／医療と看護介護

作業活動を通しての変化により家族の想いを創造する

介護老人保健施設平安の森

作業療法士 松井 悠太

「自分で食べたい」多職種で叶えた自己摂取

(利用者のニーズと安全な食事摂取の両立に向けて)

介護老人保健施設富士中央ケアセンター

管理栄養士 渡邊 早紀

● レクリエーション

ゼロから始めるレクリエーション

(笑顔のあるフロアづくりのために)

介護老人保健施設ヒューマンライフ富士

介護福祉士 山本 裕子

● リハビリテーション／体位保持・変換・移動等

リハビリでの作業が日中の楽しみに繋がった事例

(作業の意味付けとくす玉の特徴)

坂の上ろうけん曳馬野

作業療法士 内野 まどか

《次回大会》

第20回 東海・北陸ブロック老健大会 ― 三重 ―

開催日程 令和8年5月28日(木)～29日(金)

会場 三重県総合文化センター 中ホール他

メインテーマ 介護老人保健施設における叡智の総和

～地域包括ケアシステムの再構築～



1



2



3



4

第36回

全国介護老人
保健施設大会

— 山口 —

メインテーマ
昭和百年、老健、続く
～想いを繋ぎ
技を磨き
人を繋ぐ～

日時 令和7年11月27日(木)・28日(金)
会場 下関市民会館・海峡メッセ下関など

参加者 約3200名(うち静岡県78名)
演題発表 約800演題(うち静岡県27演題)

《次回大会》

第37回全国介護老人保健施設大会
—— 栃木 ——

開催日程 令和8年10月22日(木)～23日(金)
会場 ライトキューブ宇都宮 他



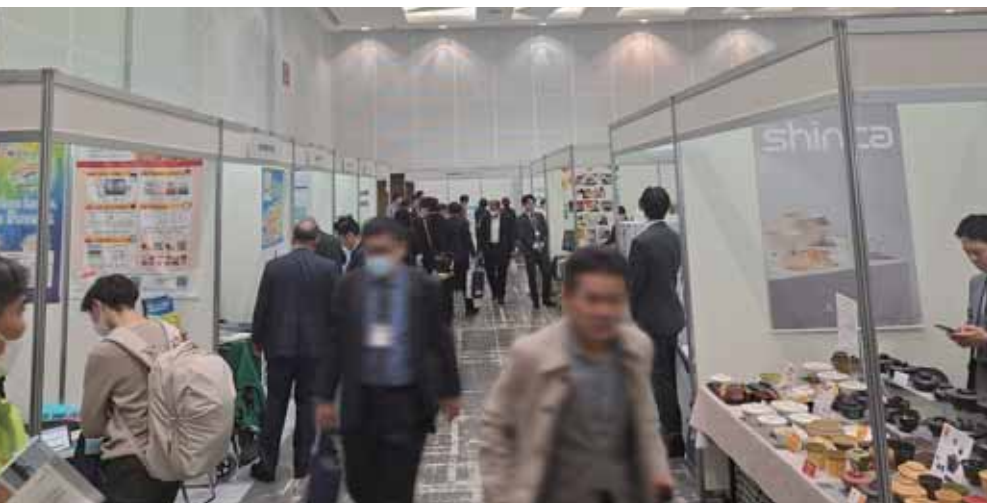
演題発表

全国大会ということもあり、非常に多くの方が参加し、演題発表の会場はどこも満席状態でした。自施設の発表の応援に駆け付けている方々も多く、発表者はその応援を受けながら、程よい緊張感の中で発表が行われていた印象です。質疑応答では活発な意見も多く、時間が足りなくなる場面もしばしば見受けられました。福祉企業展は約60社が集まり、最新の技術が提供され、興味津々に話を聞く人が多くみられました。全国大会は活気と刺激がより感じられ、同じような思いを持ちながら老健で働く人たちを見て、勇気がもらえる場所だと思っています。



開会式 ▶

下関市民会館大ホールでの開会式の様子。
第一会場、第二会場では二日間を通して、講演・シンポジウムに招かれた多彩なゲストスピーカーの貴重な話を伺うことができました。



◀ 福祉企業展の様子

企業ブース 58 店舗、書籍販売のブース 3 店舗と、多くの出展で賑わいました。
利用者様の QOL を上げる商品や、最新の見守りセンサーやナースコールなどのシステム、介護の DX 化により職員の業務改善をサポートするものなど多岐にわたり充実した内容でした。

演題発表

県内 18 施設より、27 演題の発表が行われました。

【座長】 介護老人保健施設こみに 塩澤 渉
介護老人保健施設平安の森 鈴木 教靖

● 医師・医療／ケアマネジメント

一緒に見つけるあなたらしい暮らし

介護老人保健施設西山ウエルケア
介護支援相談員 酒井 美樹

● 在宅支援

強化型老健における在宅復帰支援
（支援から見えてきたこと）

介護老人保健施設みずほケアセンター
社会福祉士 松下 愛実

在宅復帰率 50% 以上の達成と維持
（いかに分母を減らすか）

介護老人保健施設こみに
医師 東 茂樹

R6 年診療・介護報酬改定前後の新規利用者層推移調査
（疾患別リハ・薬剤処方箋から利用者層の変化を検証する）

介護老人保健施設平安の森
理学療法士 鈴木 教靖

● 医療と看護介護

利用者や家族が満足した最期を迎えるターミナルケア

介護老人保健施設あじさい
看護師 佐藤 彩

● リハビリテーション

在宅復帰に向けて優先すべき日常生活動作とは

介護老人保健施設みしゆくケアセンターわか葉
理学療法士 御宿 正人

骨癒合不全により荷重困難となった利用者への退所支援
（「帰りたい」希望を実現させる為の環境調整）

介護老人保健施設富士中央ケアセンター
理学療法士 大塚 麻由

リハビリテーション会議の参加者と方針決定の関連性
（「家族とケアマネージャーに着目して」）

介護老人保健施設白梅県居ケアホーム
理学療法士 石垣 文也

頸髄損傷者の在宅復帰に向けた取り組みと満足度の変化

介護老人保健施設あじさい
作業療法士 池田 歩

訪問リハビリ事業所医師の診察の在り方を考える
（アンケート調査で分かったこと）

介護老人保健施設白梅ケアホーム
作業療法士 豊島 久美

● コミュニケーションケア環境

日本での暮らしと介護の仕事
（環境に適応し仕事に責任を持つ！）

介護老人保健施設エスコートタウン 静清
介護職 モニカ クリステイナ

多職種連携により在宅復帰に繋がった事例

介護老人保健施設エスコートタウン 静清
理学療法士 山本 貴志

● 全般的なケア

接遇の視える化から深化へチャレンジ

介護老人保健施設こみに
介護福祉士 古賀 亮佑

音楽を通じたコミュニティ形成と意味ある場所の創出

介護老人保健施設平安の森
作業療法士 中山 裕規

特定行為研修修了者による抗精神病薬投与と客観的評価
（「眼りSCAN」を用いた客観的評価の実践報告」）

介護老人保健施設西山ウエルケア
看護師 中西 祥子

ストマ造設を超えて、大切な人と共有した食べる幸せ

介護老人保健施設しおさい
看護師 荒木 詩音

多職種カンファレンスの成果について
（「個別ケアの質向上のために」）

介護老人保健施設静岡徳洲苑
理学療法士 鈴木 大輔

● 人材

言葉の壁、心で越えた！ ドキドキからワクワクへ

介護老人保健施設こみに
介護福祉士 山田 啓美

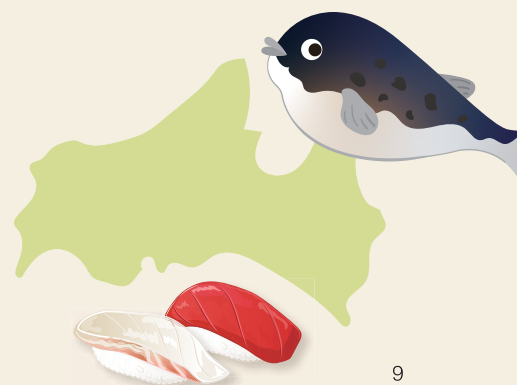
不登校の学生プロジェクト
（老健が不登校の学生を、不登校の学生が老健を救う）

介護老人保健施設アリス草薺
介護福祉士 大澤 光範

山口県下関市の紹介

山口県下関市は、本州の最西端で海に囲まれ、歴史の転換点と豊かな食文化が共存する街です。源平合戦の終焉の地「壇ノ浦」や、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘で知られる「巖流島」など、歴史的な名所が点在します。また、関門海峡を結ぶ全長 1,068m の「関門橋」も圧倒的な迫力を誇ります。下関といえば「ふぐ（ふく）」が全国的に有名で、「唐戸市場」では、新鮮な寿司をその場で楽しめるため、観光客で賑わっています。また、熱した瓦の上で茶そばを焼く「瓦そば」も名物のひとつとして有名です。

① 巖流島 武蔵・小次郎像 ② ふぐ刺し ③ 瓦そば



●業務改善と効率化

ICT導入による業務改善の取り組み

介護老人保健施設いとうの杜
介護福祉士 原田 英司

LINE公式アカウントを活用した情報共有の円滑化
（費用0円で行うデジタルツールの活用）

介護老人保健施設ユニケア岡部
支援相談員 小沼 克典

困ったときは白梅へ！
（ショート受け入れの取り組み）

介護老人保健施設白梅ケアホーム
介護職 野嶋 美和子

●認知症

BPSDのある利用者のケア
（介護からの視点）

介護老人保健施設ケア・センターひまわり
介護福祉士 関 剛士

利用者中心の視点で実現する認知症ケア
（多職種チームで挑んだケア実践）

介護老人保健施設静岡徳洲苑
介護福祉士 遠藤 てるみ

●レクリエーション

集団生活における効果的なレクリエーションの取り組み
（集団環境における心理的安全性を求めて）

介護老人保健施設静岡徳洲苑
介護福祉士 石垣 友見

●排せつ

排泄ケアを通して寄り添った介護の実践

介護老人保健施設焼津ケアセンター
社会福祉士 有賀 大介

●リスクマネジメント

トランスファーの標準化による内出血削減への取り組み

介護老人保健施設ヒューマンライフ富士
社会福祉士 渡邊 一樹



会場看板にて 小出会長



◀ 研修会レポート

高齢者が感染症に罹患すると重症化のリスクが高く、入院による心身機能の低下も懸念されます。本研修会では、集団生活の場において「いかに治療するか」「以上に重要な「いかに予防するか」という視点から、具体的かつ実践的なケアのポイントを学びました。

2026年2月14日(土)、静岡市のグランシップおよびオンライン配信にて「高齢者施設従事者研修会」を開催いたしました。

当日は、沖縄県立中部病院 感染症内科の高山義浩先生を講師にお迎えし、高齢者ケアにおける感染症予防の肝となるポイントをご講義いただきました。本研修会はハイブリッド形式で行われ、現地参加33名、WEB参加58名の計91名の方にご聴講いただきました。

4 蜂窩織炎の防ぎ方

ほうかしきえん

11

3 尿路感染症の予防

10

2 誤嚥性肺炎を予防する習慣

10

1 風邪・呼吸器感染症のケア

9



主催：一般社団法人 静岡県老人保健施設協会 / 静岡県老人福祉施設協会 / 静岡県慢性期医療協会

Takayama Yoshihiro



講師
高山 義浩 先生
沖縄県立中部病院 感染症内科

Speakers

座長
小出 幸夫 会長
一般社団法人 静岡県老人保健施設協会



Koide Yukio

ねつ

- ・アセトアミノフェン
例) パファリン®
タイレノールA®
ノーシンAc®
カロナール® など

のどの痛み

- ・アセトアミノフェン
- ・桔梗湯(キキョウトウ)
- ・のど飴

せき

- ・麦門冬湯(バクモンドウトウ)
- ・ハチミツ

さむけ

- ・葛根湯(カクコントウ)
- ・桂枝湯(ケイシトウ)
- ・栄養ドリンク

鼻水・鼻づまり

- ・小青竜湯(ショウセイトウ)
- ・鼻水スプレー
- ・抗ヒスタミン薬

その他、
これらを調合した
総合感冒薬が
いろいろあります

One more advice

風邪症状のある高齢者に対しては、対症療法による負担軽減と**口腔ケア**が重要です。
感染時はいつも以上にしっかりと行い、
菌の繁殖を防ぎます。



3つのポイント

- 寒暖に合わせた**衣服や環境の調整**
- 本人が楽になるのであれば、**解熱剤(アセトアミノフェンなど)**を積極的に活用する
- **加湿と保温**でのどの痛みや鼻づまりを緩和し、
痰をため込まない、吐き出してもらうように促す

1 風邪・呼吸器感染症のケア

2

誤嚥性肺炎

を予防する習慣

4つの習慣

□ 食事の刺激

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供

嚥下反射を促します

□ 姿勢と環境

できるだけ離床して食事を摂り、
食後も1時間は座位を保つ

逆流を防ぎます

□ 口腔ケア

定期的な口腔ケアにより、
口腔内の細菌量や残渣(残りかす)を減らす

直接的な予防につながります

□ 経管栄養

体を起こして投与し、
胃の内容物を溜めすぎないことと、
内容物の逆流に注意します。

3

尿路感染症

の予防

4つのポイント

□ 陰部の清潔を保持

適切な排泄支援

長時間にわたり陰部を便で汚染しない

洗浄の考え方

尿道カテーテル挿入中の患者において、ポビドン
ヨードや石鹸での洗浄は、水のみ洗浄と比較し
て細菌尿の発生率を下げない(むしろ水のみの方
が低い傾向にある)というデータが示されました。

□ 水分を摂取して尿量を確保

1日の飲水量は体重2%が目安だが、
尿量減少ないかの確認でもよい

□ 腎臓を膀胱よりも高い位置に保つ

日中は座位で生活するか、
ベッドをギャッジアップする

予防のポイント

- 適切な排泄支援で清潔を保つ
- 十分な水分摂取で尿量を確保
- 腎臓は膀胱よりも高い位置

□ 抗菌薬の予防投与を検討

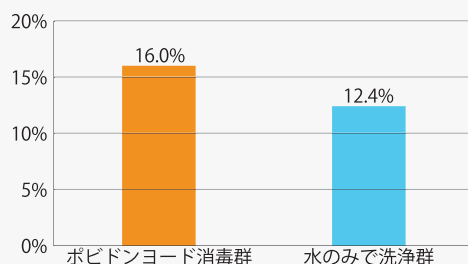
ハイリスクのイベント後、または就寝前

抗菌薬を内服する

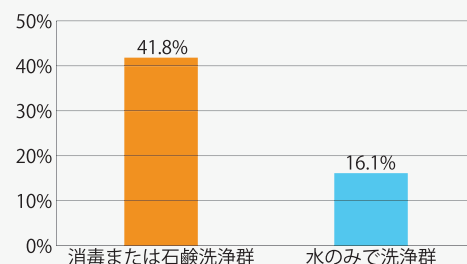
尿道口を定期的に消毒や石鹸洗浄する必要はない

尿道カテーテルを挿入している患者における細菌尿発生率

尿道カテーテルを挿入している患者の尿道口洗浄について、「ポビドンヨード消毒」と「水のみで洗浄」、「石鹸洗浄」と「水のみで洗浄」について、細菌尿の発生率をアウトカムとする無作為化対照試験を実施した。



尿路感染症の高リスク女性における細菌尿発生率



JAMA Intern Med. 2018 Oct 1;178(11):1509-1515.

4 蜂窩織炎の防ぎ方

4つのポイント

□ 皮膚の清潔を維持する

- ・足浴などで清潔を保つ
- ・白癬（水虫）があるなら治療する

□ 皮膚を保護して傷つけない

- ・足浴等で清潔を保ち、
- ・ナイロンタオルでゴシゴシ洗わない

摩擦しない

- ・掻破痕があるなら爪を短く切る

爪による掻き傷を避ける

□ 浮腫を圧迫して軽減させる

- ・不動、肥満、心不全などの改善を図る
- ・弾性ストッキングを着用する

圧迫療法を行う

そうすることで、再発率が大幅に低下（40%から15%へ改善）することが報告されている

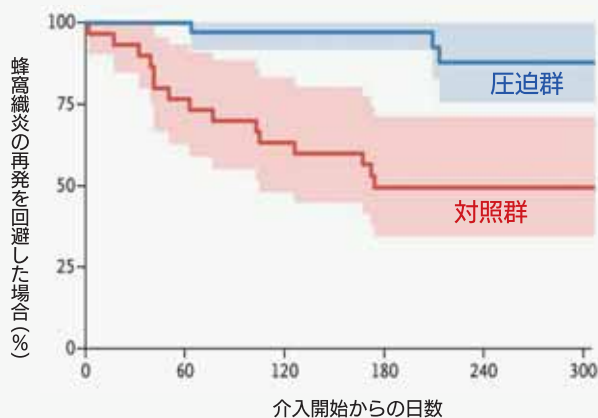
□ 抗菌薬を予防投与する

- ・アモキシシリン、ST合剤、
- またはドキシサイクリンを経口投与

圧迫療法は蜂窩織炎の再発を大幅に減らす

慢性下肢浮腫および再発性蜂窩織炎の患者を、**下肢圧迫療法と蜂窩織炎予防に関する教育を行う群（圧迫群41人）**と、**教育のみを受ける群（対照群43人）**とに割り付けた。6ヶ月ごとに最大3年間にわたり追跡調査を行った。

下肢浮腫を伴う蜂窩織炎の患者では、**圧迫療法を行うことにより蜂窩織炎の再発が大幅に低下することを確認した**



調査結果	圧迫群	対照群
再発率	15%	40%
うち入院した率	7%	14%

圧迫群における蜂窩織炎の再発は15%に過ぎなかったが、教育のみ群では40%と再発を経験していた。

このうち、圧迫群の入院は7%であったが、対照群では入院が14%となった。

N Engl J Med. 2020;382(6):513-521.



そも
そも

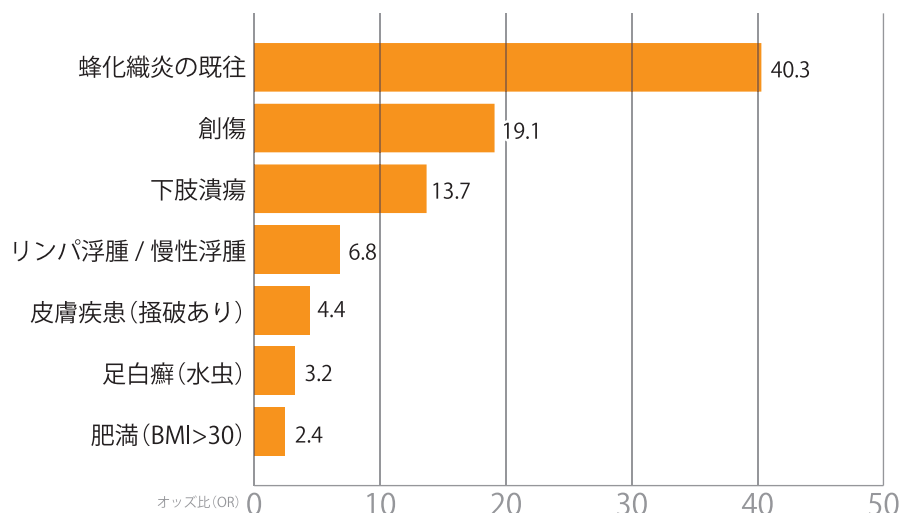
蜂窩織炎とは？

▼特徴

蜂窩織炎は、糖尿病などの全身性要因よりも、**創傷や浮腫といった局所的な要因との関連が深い**のが特徴です。

蜂窩織炎の危険因子

化膿性分泌物、または膿瘍を伴わない、下肢の非化膿性蜂窩織炎（NPLC）の発症リスク因子について、6件の比較対象試験をもとにしたシステマティックレビューを行った。



NPLC の発症に、創傷や潰瘍など局所的な危険因子との深い関連を認めたが、糖尿病、喫煙、飲酒など全身性危険因子との関連は認めなかった。

NPLC の治療にあたっては、抗菌薬治療だけでなく、下肢浮腫、創傷、潰瘍、皮膚損傷、趾間擦過傷などの危険因子の治療を行うべきである。

Br J Dermatol. 2017 Aug;177(2):382-394.

高齢者ケアで心がけたい感染症の予防

まとめ

なぜ、高齢者の感染症予防か？
 高齢者が感染症に罹患すると
重症化するリスクが高い。
 高齢者が入院すると、
心身機能が低下する原因となる。
 入所・通所施設など
集団生活する高齢者が増えている。
 高齢者の感染症は「いかに治療するか」よりも
「いかに予防するか」を重視する必要がある。

▼菌種別にみる特徴

	レンサ球菌	ブドウ球菌
傷口	なし	あり
進行	早い	遅い
境界	明瞭	不明瞭
水疱	あり	なし
リンパ管炎	あり	なし
ASO	上昇*	不変

* B群レンサ球菌を除く

▼再発予防

通常	セファレキシン 500mg 1日1回
レンサ球菌	アモキシシリン 500mg 1日1回
MRSA	ST合剤1錠 1日1回 (腎機能に応じて適宜調整)
長期投与	ドキシサイクリン 100mg 1日1回

防災部会

令和8年1月22日(木) 12時～16時

講師・アドバイザー

株式会社CoAct 渡嘉敷唯之 氏

介護福祉士・主任介護支援専門員

協力 あいおいニッセイ同和損保株式会社 様

会場 もくせい会館 富士ホール

担当 入野ケアセンター / こみに



講師の(株)CoAct 渡嘉敷 唯之 先生(右端)と

講師・アドバイザーとして前年度同様、株式会社CoAct 渡嘉敷唯之様(介護福祉士・主任介護支援専門員)をお招きし、あいおいニッセイ同和損保株式会社様の協力にて、グループに分かれて机上訓練・実地訓練を実施しました。

机上訓練は渡嘉敷先生に講義をしていただき、実地訓練は会場内に3ヶ所ブースを設置し、渡嘉敷先生の指示を受けた入野ケアセンター・こみにの職員が講師として待機、あいおい損保様には災害時の補償の相談や消火訓練のVR体験が出来るブースを務めていただきました。

前半 机上訓練		後半 実施訓練	
指揮命令系統	アドバイスの一例 ・グループで指揮命令系統を決める ・夜間帯は役割を減らす ・小規模の場合にはリーダーだけ決めて他の役割は皆でやる ・人数が足りない場合は兼務にするなど工夫する	被害状況に合わせた対応	ライフラインが停止している状況での必要な備えと対策 様々な状況にどのように対応するかのグループワーク ・エレベーターに閉じ込められた時の対応 ・搬送方法等 ・医療機器の電源 ・トイレの使用禁止時など
	机上訓練を体験する事で、BCPの課題の洗い出しを行う		事業継続 震災から数日経過後、ライフラインも停止中で職員も出勤者が少ない中、どう外部に支援要請をするか？ ・支援物資が届いた場合の整理方法や外部からのご利用者受入れについて具体的に検討 ・業務については何を優先するか、何を縮小するかの設定をその場で行う事の難しさ、だからこそ事前にBCPで定めておくことの大切さを知りました
福祉避難所		いずれも制限時間を設けていたため、出来る限り早い判断が必要になり、被災時を想定する事が出来ました。一人ひとりが当事者意識を持って、机上訓練に参加できたと思います。	
椅子や机、ダンボールベッドやポータブルトイレ、蓄電池等を使用した避難所設置 LINEのオープンチャットを活用し、各グループの福祉避難所のレイアウトを写真で情報共有。		▼連携力を含む実践力向上を図る訓練 他施設の職員と協力して、実際の災害時対応を体験 ▼臨場感ある訓練 一定時間ごとに停電を想定して会場内の照明を消灯するなど	



- 01 ～ 05 前半の机上訓練の様子
 06 ～ 12 後半の福祉避難所を想定した訓練
 13 ～ 16 後半の救護所を想定した訓練
 17 ～ 18 後半の災害補償相談とVR体験

参加者アンケート

研修についての評価

内容	良かった	100%
理解度	良くできた	80%
研修時間	適切	92%

満足度 10点満点中
 最高 10 点 平均 9.3 点

感想等

- ・机上訓練がグループによって色々なパターンがあって、楽しみながら気付きもあり、良かった。
- ・停電して暗い中での避難所の配置等、夜間の想定が出来たのは良かった。
- ・机上訓練+実務訓練のセットは良かったです。
- ・福祉避難所の物品の使用が分かりづらい所があった。
- ・実際に体験することで記憶に残るので、今日の様に体験型は良いと思いました。
- ・是非、継続していただくと助かります。
- ・内容に対して時間が短く感じた。
- ・特に実地訓練の内容はとても参考になりました。是非、自施設でも取り入れたいと思います。
- ・想定した訓練が出来たので良かったです。実際にやってみると色々なやり方があると感じました。
- ・BCPがもっと身近なものになれば、もっと興味を持つと思う。

など

まとめ

昨年について体験型研修となりました。アンケートも概ね高評価で、楽しく学べる良い機会になりました。次回も実践的な研修を企画し、各施設の防災意識の向上、BCPの見直しに繋げていきたいと思います。

災害補償相談 VR体験	救護所	骨折の処置(その場にある物を工夫)や搬送方法を実施
・現在加入している保険が、立地のリスクに合ったものなのか相談 ・VRで火災現場の消火を体験	・担架や毛布を使った搬送を行いました。どのグループも日頃から訓練されているのか、スピーディーに対応していました ・担架は意外に重く、搬送時は女性2人だけだと大変で4～5人がかりで移動するグループもありました ・施設には他の手段(ベッド・車椅子・ストレッチャー等)もあるので、何を選択するかも大切なことも学びました	・実際は車椅子のご利用者が多いため、限られたスペースで導線を考えながら、プライバシー確保のためにシートやロープを使って仕切るなどの様々な工夫を考える必要がありました ・グループによって工夫・レイアウトが異なり、非常に勉強になった

看護・介護部会



令和8年2月26日(木) オンライン形式

テーマ 介護老人保健施設における共生型障害福祉サービス
【自律訓練(機能訓練)】の実施について

講師・アドバイザー 國分千津子 先生

介護老人保健施設 三方原ベテルホーム
リハビリテーション課長

担当 三方原ベテルホーム / 萩の里

「介護老人保健施設における共生型障害福祉サービス【自律訓練(機能訓練)】の実施について」と題しまして、介護老人保健施設 三方原ベテルホーム リハビリテーション課長 國分千津子 先生に、2024年の介護報酬改定にて、通所リハビリテーションに認められるようになった機能訓練事業所の共生型サービスについて、三方原ベテルホームで新たに指定を受けて受け入れを開始したため、制度創設の背景や施設に期待されること、通所リハビリテーションで共生型サービスを行う意義、利用者や施設のメリット、苦労した点、今後の課題についてお話いただきました。

当日は県内14施設から多くの方が参加されました。

介護老人保健施設における共生型障害福祉サービス 自律訓練(機能訓練)の実施について

制度創設の背景

地域共生社会

「ニッポン一億総活躍プラン」(2016年閣議決定)の中で初言及
市町村に対し、分野横断型の相談支援体制の構築、
複合課題への包括対応が求められるようになった
「地域共生社会の実現」が法律目的として明記されたこと
による(2018年の社会福祉法の改正)

共生型開始により「期待されること」

利用者のサービスの選択肢の拡大

多様化・複雑化している福祉ニーズに臨機応変に対応できる

●地域共生社会の実現

●地域包括ケア・福祉のまちづくりを展開するためのきつかけ

●事業所の負担軽減、運営の効率化

●地域の実績に応じたサービスの提供体制整備や人材確保を行うことができる

利用者のメリット

●サービスの選択肢が増加

●近隣の障害者施設に空きがない場合、近隣の介護保険施設へ行くことができる

↓
・通所リハビリテーション
・通所介護(デイサービス)へ

もっと掘り！

- ① 高齢者割合が増加
65歳を迎える「介護保険優先原則」
適用障害者の増加
- ② 高齢者、障害者を分けた支援体制では人材確保や地域の実情に応じた体制整備が困難

少子高齢化の進行

地方では高齢者施設と障害者施設の設置が困難な地域も
↓
ひとつの事業所が双方の支援を担うことで地域資源の有効活用が可能となる

地域の支援資源の不足

この制度が必要とされるようになった時代背景

通所リハビリテーションで 共生型サービスを 行う意義

すべての専門職がそろっている

- 医療的ケアやリハビリが充実しているため障害福祉の対象者を受け入れ安い

日頃の業務をそのまま生かせる

- リハビリマネジメント加算で行っている活動、参加に向けた取り組みやリハビリ会議を通じた施設内外の多職種との連携を生かせる

通所リハビリの本来の役割を果たせる

- 機能訓練は期間限定→卒業が前提。目標を明確にして3か月に一度の支援会議でモニタリングと計画の見直しを図り、社会参加を目指す

今後の課題

若年層、未経験の疾患や障害像への対応

- 未経験疾患はその都度疾患の勉強会を行う
- ケース検討会で実践能力をつける
- 障害福祉サービス機関への見学や相談を行う

未取得加算や書類、委員会の存在の在り方への不安が大きい

- 共生型サービス実施中の通所介護施設、もしくは行政や地域の障害相談支援事業所に相談する

受け入れ人数や疾患・障害像について要検討

- 職員の不安を払拭するために施設方針を明確にし、職員みんなが安心して受け入れられる環境作りが必要

まとめ 共生型サービスを開始して

介護保険分野のみならず、障害福祉サービス関連事業所との連携を通じ、地域との繋がりをこれまで以上に強く感じ、老健として地域共生社会構築の一端を担っているという実感をもつことができた。

老健の通所リハが、地域共生社会の実現のために担っていかなければならない分野ではないか。

今後少しでも多くの老健が共生型に参画し、オール老健で地域を支える構図ができると良いと感じた。



実際に大変
そうだった

介護報酬・福祉サービス報酬の調整が必要
請求方法や報酬処理の複雑化
↓
事務作業の負担増加



デメリットは感じない

利用者のニーズに対応する必要がある
高齢者……認知症ケアや身体機能の維持
障がい者……自立支援や社会参加
異なる支援方針を統合し、
バランスのとれたプログラムの提供が求められる。
施設の整備が必要
さまざまな障害像に合わせた環境が必要

難渋が想定される点 《厚労省の資料で指摘されていること、実際の感触は？》

多様な人々との交流で社会性や生活の質が向上
高齢者と障害者が一緒に活動することで、互いに刺激し合い、
生き生きとした雰囲気生まれたという報告もある。

↓
同じ障害者施設の継続が可能

慣れた環境下での継続的なサービス利用
65歳になると使い慣れた障害者施設から介護保険施設へ移らねばならず、
利用者に負担を強いることになる

栄養部会

令和8年3月19日(木) 14時～16時

会 場 静岡県総合社会福祉会館シズウェル

担 当 おおひら / ケアセンター池田の街

今回の栄養部会は、24施設27名方に参加して頂きました。

教材視聴の後に行われたグループワークでは4人組で活発な議論となりました。今回のように老健協会の栄養部会が雑談・相談が気軽にできる場となり有効に活用していけたら良いなと考えております。研修に参加して頂いた施設・参加者の皆様ありがとうございました。

食事がもたらしてくれるQOL



▼教材視聴

《題材》口から食べる事を維持するために奮闘している専門職

実際に自分が同じように口から食べられないという状況になった時に、何と引き換えに食事の優先順位が一番の考えが、後回しにする方など人それぞれの考えがあると思います。一日に数百回数千回とされている嚥下は常に誤嚥性肺炎のリスクと隣り合わせですが、食事がもたらしてくれるQOLを考えるとリスク以上の幸せがある

り生活に大きな光とパワーをもたらしてくれる。

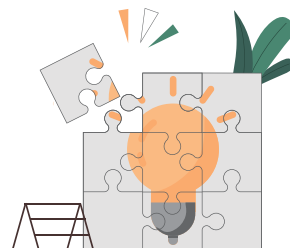
普通と思っている身体の機能がなくなつた時に自分が何を一番優先にするのか考えるきっかけに、今ある機能を大切にして頂きたいとの思いから今回の教材となりました。

▼グループワーク

後半のグループワークでは「研修等ではなかなか自由に悩みや相談をする時間がない・横の繋がりを作るきっかけがない」という声を時々聞くことがあり、大きなテーマを決める程度で自由に話をしてもらいました。令和3年度介護報酬改定で栄養マネジメント強化加算が新設された事により、管理栄養士の人員増加が進んでいます、まだ一人体制の老健が多いのも事実です。

そんな時に聞きたいことがあっても、なかなか相談をする人がいない・ネットで検索するだけという状況が、老健協会の栄養部会をきっかけに少しでも変えられたら良いなと思います。

テーマ
こんな取り組みが
できたらいいな



普段、頭の中では考えているアイデアがあっても行動するにはハードルがある、需要はあっても現実的に考えれば難しい事なども含めて自由にトーク。

他施設の取り組みやアイデアを知り、自施設に持って帰れば活用できることがあるかもしれません。そんな話題をきっかけにグループ内の距離を締め日頃の悩みを話し合いました。





グループワークの様子



教材視聴の様子

▼参加者から出た意見

物価高騰により取り扱い食材がどんどん減り、人員不足で思うような取り組みができない

・食材の値段は上がり、材料の変更・品数の減少・加工品の終売も増加している

・海外からの労働力も増え助かつてはいるが、細かなニュアンスや慣習が異なるので、慣れるまでに時間がかかる

・人員不足により、最低限の業務で手いっぱいになり余裕がない

・持ち込み食材（ターミナル時など）への対応に苦慮する事がある（数・頻度・種類など）

・喫食量アップのためや、ターミナル時の持ち込みを許可しているが、頻度・期限・手作り品・一度に持ち込む量の加減など問題は多数ある

・個別に提供していると、周囲の利用者も食べたくなくなってしまう

・栄養士側と現場スタッフの考え（ソフト食など食事形態など）の違いがある

・見た目や食べやすさを考えソフト食導入や、新たな提供方法を考えても、現場は安全面や時間の面から受け入れてもらえない事もある

・提案しても他部署の意見が強く、採用されない事もある

言語聴覚士・歯科衛生士などの専門職が身近にいと発言の説得力等が増す

・管理栄養士と看介護の間に入ってくれやすい専門職がいる事で物事がスムーズに進み、発言に説得力が増すことや新たな加算を取ることができる

・管理栄養士としては一人でも施設内で同じ意思を共有することができる

・専門職がいても、系列施設での業務を掛け持ちしているので週に数日しかない

・個別対応を充実させたいが加工場所などの面で厳しい施設もある

・細かな個別対応を行いたい、厨房に委託が入っていると、使用できない事やスペースに余裕がない事も多い

・新たな対応を追加するには契約から変えないと出来ない事もある

・提出書類など仕事量が増え以前のような仕事に手が回らない

・加算など、パソコンでの書類作成に時間が取られて以前のようにミールラウンド等に割く時間が取りにくく、今後パソコン作業が増えていくと思う



リハビリテーション部会

令和7年10月29日(水) 14時～16時
会 場 静岡県総合社会福祉会館シズウェル
テーマ リハビリテーション専門職の施設間交流
担 当 梅名の里 / 平安の森



数年ぶりに集合での部会を開催することができました。やはり参加者のみなさん、自施設以外のことがかなり気になるようでした。今回顔を合わせることができ、今後施設をまたいでの相談等がしやすい環境が少しでも作ることができたと感じています。

今後の厳しい時代に対し、静岡県老人保健施設協会として、同時にリハビリ部会としても連携の取りやすい環境を作ることができればと考えています。

▼開催概要 リハビリテーション専門職の施設間交流

近年、リハビリテーション専門職（以下セラピスト）は急激に増加しており、医療機関だけでなく介護事業所で勤務するセラピストも増加しています。需要があるから増えているものと思われませんが、一方では勤務している事業所のことしか分からないセラピストも増加しているように感じています。特に介護老人保健施設においては、利用者の入所前・退所後のことまで考えて対応していく必要があります。地域の医療機関や介護事業所との連携が重要になってきます。

この連携についても、知っている相手とまったく知らない相手では対応が変わってくると思われます。コロナ禍により減少（変化）した人との交流のかたちを踏まえ、セ

ラピスト間の交流を取り戻したいと思い、まず他施設がどのようなリハビリテーションを実施しているのかを知ることから始めたいと考え、今回の部会を開催しました。部会には、23施設から34名のセラピストが参加されました。職種別では、理学療法士18名、作業療法士13名、言語聴覚士3名。施設基準別としては、基本型3施設、加算型4施設、在宅強化型6施設、在宅超強化型10施設でした。

内容としては、①施設発表、②グループワークを実施しました。特にグループワークでは、施設基準ごとにグループをつくることで、同じような課題を自由に話し合うことができていました。

▼施設発表

《主催施設である、2施設より各施設の状況について発表》

《平安の森》

施設の状況や取り組みについて、セラピストがどのようなかかわっているのかを、老健だけでなく関連サービスを含め説明。



平安の森記念病院と併設している「老健」施設。入所・ショートステイ・通所リハビリ・訪問リハビリで構成され、近隣の医療・介護機関と連携し、在宅復帰・在宅支援を行う。

《梅名の里》

経営的な立場から、どのようにして在宅超強化型を獲得してきたのか。その状況下及び今後の運営的にセラピストに求めるものを説明。

家庭と病院の中間に位置する介護保険法に定められた施設。病状が比較的安定した要介護高齢者に看護・介護・医療・リハビリテーション等の医療ケアと日常生活サービスを提供し、在宅復帰に向け心身の自立支援を行う。



施設発表の様子



グループワークの様子

利用者の入所前、対処後の対応、
地域の医療機関や介護事業所との連携。
本部会をセラピスト間の交流を深める機会に！

NEWS

「リハビリテーション統括調整室」が設置されました 令和8年5月19日

厚生労働省内の関係部局が一丸となり、分野横断的にリハビリテーション政策を進めるための新組織「リハビリテーション統括調整室」設置することを発表。



「理学療法士及び作業療法士法」施行後約60年が経過し、制度的な見直しが考えられるかどうかを検討していく必要がある。

▶設置背景

- ①リハビリテーション専門職の活躍の場は、医療、介護にとどまらず、予防や健康増進の分野にも拡大。
- ②今後、「攻めの予防医療」の具体化に取り組んでいく中で、リハビリテーション専門職が果たす役割は大きい。

▶概要

- ①医療、介護、障害福祉の垣根を越え、分野横断的にリハビリテーション政策を推進する必要。
- ②厚生労働省内で所掌ごとに組織されている関係部局の連携及び調整を図りながらリハビリテーション政策を進めるため、リハビリテーション専門職を有効的に活用し、将来にわたり国民の健康の増進に寄与するリハビリテーションを国家戦略として推進。
- ③リハビリテーションに関わる施策の総合的な調整に関する事務を所掌する。

「リハビリテーション統括調整室について 厚生労働省」より

▼グループワーク

参加申し込み時に施設基準（類型）まで確認しており、事前にグループを検討。施設基準により、基本型1グループ、加算型1グループ、強化型2グループ、超強化型2グループに分かれて実施しました。2つのテーマについて検討し、発表をしていただきました。

A 施設基準によるリハビリ実施状況や業務内容の違い

施設基準により、かなりの差があることが分かりました。施設運営などへの不満も

聞かれましたが、どうすれば上の基準を獲得できるのか、自分の施設にできていない部分を他の施設はどのように行っているのか等、前向きな意見が多く聞かれました。

B 老健でのリハビリ職に求められることと提供できること

こちらについては、少しテーマが絞れなかったようです。職能間（リハビリ・看護・介護）での思いや考え方の違いに問題を抱えている施設が多く、どの施設も連携については悩んでいるようでした。

通所リハビリ部会

令和8年2月12日(水)

会 場 もくせい会館

テーマ 「通所リハでの介助が体感2倍楽になる」～生活密着系 OT の簡単介助テクニック5選～

講 師 安藤祐介 氏

介護老人保健施設ケアセンターゆうゆう 作業療法士／介護・福祉講師

担 当 ケアセンターゆうゆう / ひろみ

今回の部会は、ゆうゆうの作業療法士として勤務される一方、介護・福祉分野の講師として全国各地で活躍されている安藤祐介さんを講師にお迎えし、「通所リハでの介助が体感2倍楽になる～生活密着系OTの簡単介助テクニック5選～」をテーマにご講演いただき、県内24施設より43名の皆様にご参加いただきました。

ご参加いただいた皆様、貴重なお時間の中ご参加いただき、誠にありがとうございました。今回の学びや気づきを、ぜひ今後の現場での支援に活かしていただければ幸いです。

通所リハでの介助が体感2倍楽になる

生活密着系OTの簡単介助テクニック5選

講師 安藤祐介氏（介護老人保健施設ケアセンターゆうゆう 作業療法士）

研修では、実際に身体を動かしながら体験形式で学ぶ時間が多く設けられ、「重みを利用すること」や「介助時の触れ方によって相手の身体の緊張が変化すること」など、日々の現場ですぐに活かせる実践的な内容を学びました。参加者の皆様は、介助する側・される側の両方を体験することで、普段何気なく行っている介助方法を改めて見直す機会となりました。

特に印象的だったのは、安藤さんがYouTubeなどでも大切に発信されている「力で動かそうとしない介助」や「利用者が安心できる優しい触れ方」の考え方です。介助者が無理に身体を支えたり動かしたりするのではなく、相手の自然な動きや重心移動を活かしながら関わることで、利用者様自身の力を引き出し、身体の緊張を和らげることができるという内容に、多くの参加者が驚きと納得の表情を見せていました。

また、安藤さんの情熱的でありながら温かく優しい語りかけに、会場全体が引き込まれ、体験中には「なるほど」「こんなに違うんだ」といった声や笑顔が会場のあちこちで見られました。短い時間ではありましたが、参加者の皆様にとって、自分自身の身体を通して「利用者様にとって心地よい介助」を学ぶ、大変有意義な研修となりました。



安藤祐介氏の
YouTubeチャンネル



02

01 講義する安藤氏

02 介助する側、される側の両方を体験



01

介助時の触れ方によって 相手の身体の緊張が変化する



人の**弱点**
体をつなぐ柔らかい部分

首 | 脇
腰 | 股

弱点には
触れないほうが無難

弱点に触れると緊張が高まり、
関係性も崩れやすい

弱点に
触れざるを得ない場合
利用者の適応を待つ

令和7年度事業報告

一般社団法人 静岡県老人保健施設協会《各職域部会・研修会開催状況》

月日	研修名	内容	備考
5月22日・23日	第19回 東海・北陸ブロック老健大会 富山		静岡県 参加人数：25名 演 題 数：7題
6月19日	2025年度定期総会 研修会①	2024年度事業報告、歳入歳出報告、2025年度事業計画案、 歳入、歳出予算案等 研修会：テクノロジー活用した生産性向上の取り組みのポイント (講師：TRAPE 鎌田大啓氏)	参加人数：40名
10月29日	リハビリ部会	グループワーク ①各種類(区分)によるリハビリ実施状況や業務内容の違い ②老健でのリハ職に求められていること、提供できること	参加人数：34名
11月27日・28日	第36回 全国老人保健施設大会 山口		静岡県 参加人数：78名 演 題 数：27題
1月22日	防災部会	体験型研修(机上訓練・実地訓練)	参加人数：61名
2月12日	通所リハビリ部会	「通所リハでの介助が体感2倍楽になる！」 ～生活密着系OTの簡単介助テクニック5選～	参加人数：43名
2月14日	研修会②	高齢者ケアで心がけたい感染症の予防 (講師：沖縄県立中部病院 高山義浩先生) 老健協、老施協、慢医協合同	参加人数：33名 WEB参加：58名
2月26日	看護・介護部会	介護老人保健施設における共生型障害福祉サービス 【自律訓練(機能訓練)】の実施について	Web開催 参 加：14施設
3月19日	栄養部会	食と健康の専門家が想い描く支援のカタチ ①視聴研修(情熱大陸) ②グループワーク(こんな取り組みでよかったらいいな)	参加人数：27名

※オンラインでの会議および研修は Cisco Webex を使用

MEMO

令和8年度

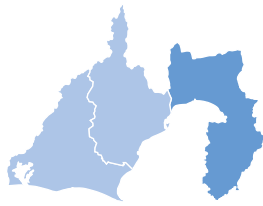
年間計画(案)

一般社団法人 静岡県老人保健施設協会

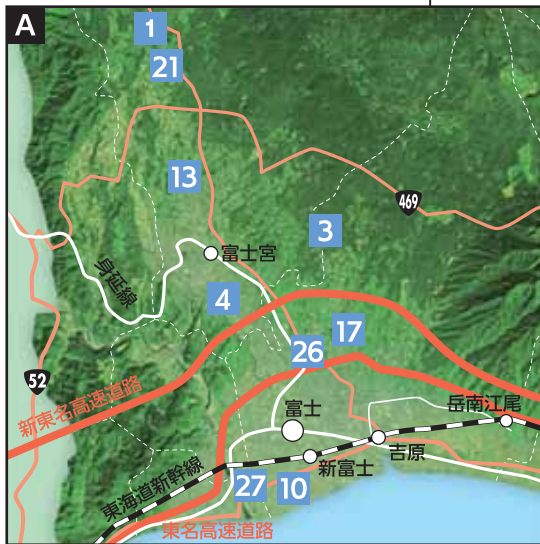
開催予定日	研修名	内容
定期	理事会・社員総会	
随時	幹事部会	
5月28日・29日	東海・北陸ブロック老健大会 三重	
6月11日	2026年度社員総会 研修会①	2025年度報告（事業、歳入歳出、決算） 2026年度計画（事業、歳入歳出、予算） 研修会：南海トラフ地震に備えて（仮）
7月	相談員・ケアマネ部会	担当：安寧の郷、おおひら、みゆきの苑
8月	リハビリ部会	担当：平安の森、ゆうゆう
9月	通所リハビリ部会	担当：池田の街、梅名の里、ひろみ
10月22日・23日	第37回全国老人保健施設大会 栃木	
11月	防災部会	担当：入野ケアセンター、こみに
12月	栄養部会研修会	担当：坂の上ろうけん曳馬野、萩の里
1月	看護・介護部会	担当：あみ、白梅ケアホーム、三方原ベテルホーム
2月	研修会③	研修会内容未定
3月	機関誌部会	担当：ヒューマンライフ富士、ユニケア岡部

※オンラインでの会議および研修は Cisco Webex を使用する予定

MEMO



静岡県東部



4 一般財団法人富士心身リハビリテーション研究所 富士ケアセンター

☎ 0544-22-3111 ☎ 0544-22-3907

【所在地】〒418-0035 富士宮市星山1129

●開設／平成6年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



5 医療法人社団 敬寿会 安寧の郷

☎ 0558-76-8100 ☎ 0558-76-8101

【所在地】〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44

●開設／平成6年5月 ●入所定員／150名



1 医療法人社団 聴友会 リバブルケア

☎ 0544-54-1800 ☎ 0544-54-0522

【所在地】〒418-0105 富士宮市原682

●開設／平成2年4月 ●入所定員／72名 ●通所定員／34名



2 医療法人社団 康生会 Kanon

☎ 0550-83-3567 ☎ 0550-82-3887

【所在地】〒412-0043 御殿場市新橋1175-1

●開設／平成4年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



3 医療法人社団 喜生会 ヒューマンライフ 富士

☎ 0545-36-0511 ☎ 0545-36-2677

【所在地】〒417-0801 富士市大淵3901-1

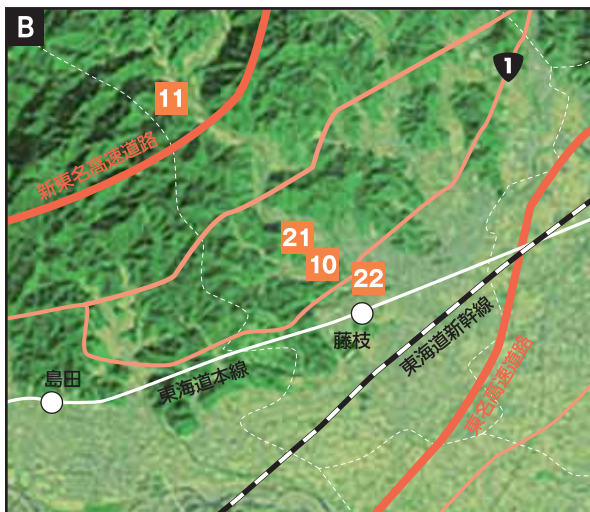
●開設／平成5年7月 ●入所定員／195名 ●通所定員／75名



18	医療法人社団 勝友会 サン静浦	
☎ 055-934-6000 ☎ 055-934-8288 [所在地] 〒410-0106 沼津市志下344-1 ●開設/平成14年2月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名		
19	医療法人社団 敬寿会 夢の樹の郷	
☎ 055-971-1000 ☎ 055-971-1003 [所在地] 〒411-0902 駿東郡清水町玉川183-1 ●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名		
20	医療法人社団 薬紀会 みしゅくケアセンターわか葉	
☎ 055-997-8181 ☎ 055-997-8302 [所在地] 〒410-1107 裾野市御宿1475 ●開設/平成15年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		
21	医療法人社団 鵬友会 いかる野	
☎ 0544-54-3200 ☎ 0544-54-3201 [所在地] 〒418-0105 富士宮市原709 ●開設/平成18年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/34名		
22	公益社団法人 地域医療振興協会 伊東市介護老人保健施設みはらし	
☎ 0557-37-3804 ☎ 0557-37-6678 [所在地] 〒414-0055 伊東市岡187 ●開設/平成18年4月 ●入所定員/125名 ●通所定員/30名		
23	医療法人社団 辰五会 ふれあいの下田	
☎ 0558-27-0700 ☎ 0558-27-1117 [所在地] 〒415-0013 下田市柿崎32-10 ●開設/平成18年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名		
24	医療法人 啓仁会 いとうの杜	
☎ 0557-35-4165 ☎ 0557-35-4101 [所在地] 〒414-0002 伊東市湯川288-9 ●開設/平成18年11月 ●入所定員/137名 ●通所定員/60名		
25	独立行政法人地域医療機能推進機構 三島総合病院附属介護老人保健施設	
☎ 055-983-6050 ☎ 055-983-6070 [所在地] 〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276 ●開設/平成13年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		
26	社会福祉法人 秀生会 富士中央ケアセンター	
☎ 0545-72-3800 ☎ 0545-72-3803 [所在地] 〒419-0201 富士市厚原372-1 ●開設/平成25年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名		
27	共立蒲原総合病院組合 芙蓉の丘	
☎ 0545-56-2311 ☎ 0545-56-2711 [所在地] 〒421-3306 富士市中郷2500-1 ●開設/平成13年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名		
28	社会医療法人 青虎会 介護老人保健施設 菜の花の丘	
☎ 0550-76-5800 ☎ 0550-76-5804 [所在地] 〒410-1313 駿東郡小山町竹之下321 ●開設/平成27年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名		
29	医療法人社団 真仁会 あいの郷	
☎ 055-965-4123 ☎ 055-965-4133 [所在地] 〒410-1102 静岡県裾野市深良 2929 ●開設/平成13年12月 ●入所定員/100名 ●通所定員/90名		

6	社会福祉法人 静和会 梅名の里	
☎ 055-977-8686 ☎ 055-977-8090 [所在地] 〒411-0816 三島市梅名578 ●開設/平成6年8月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名		
7	医療法人社団 聡誠会 長泉ケアセンター博寿園	
☎ 055-989-1121 ☎ 055-988-6565 [所在地] 〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1 ●開設/平成7年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		
8	医療法人社団 真養会 おおひら	
☎ 055-934-1165 ☎ 055-932-7934 [所在地] 〒410-0821 沼津市大平1117-1 ●開設/平成7年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		
9	社会医療法人 青虎会 あすなろ	
☎ 0550-88-0007 ☎ 0550-88-1101 [所在地] 〒412-0045 御殿場市川島田1076-2 ●開設/平成7年5月 ●入所定員/199名 ●通所定員/120名		
10	医療法人財団 潮聖会 ききょうの郷	
☎ 0545-65-2000 ☎ 0545-65-2001 [所在地] 〒416-0946 富士市五貫島175 ●開設/平成9年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/55名		
11	社会医療法人 志仁会 ラ・サンテふよう	
☎ 055-989-7000 ☎ 055-989-7005 [所在地] 〒411-0047 三島市佐野1205-3 ●開設/平成9年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/80名		
12	医療法人社団 川口会 のぞみ	
☎ 0557-48-0658 ☎ 0557-48-0655 [所在地] 〒414-0001 伊東市宇佐美中里2405-2 ●開設/平成11年2月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名		
13	医療法人社団 仁信会 みゆきの苑	
☎ 0544-28-3900 ☎ 0544-25-3939 [所在地] 〒418-0005 富士宮市宮原337-4 ●開設/平成11年4月 ●入所定員/109名 ●通所定員/70名		
14	医療法人 それいゆ会 河津おもと苑	
☎ 0558-35-7770 ☎ 0558-35-7771 [所在地] 〒413-0502 賀茂郡河津町川津袋場1512-18 ●開設/平成11年9月 ●入所定員/50名 ●通所定員/10名		
15	医療法人社団 健育会 しおさい	
☎ 0558-52-3000 ☎ 0558-52-5577 [所在地] 〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1 ●開設/平成12年3月 ●入所定員/50名 ●通所定員/38名		
16	医療法人社団 静岡メディカルアライアンス なぎさ園	
☎ 0558-62-6800 ☎ 0558-62-7255 [所在地] 〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674 ●開設/平成13年4月 ●入所定員/80名 ●通所定員/20名		
17	医療法人社団 広見会 ひろみ	
☎ 0545-21-6600 ☎ 0545-21-1003 [所在地] 〒417-0801 富士市大淵39-1 ●開設/平成14年4月 ●入所定員/90名 ●通所定員/40名		

会員施設一覧 中部地区



静岡県中部

6 医療法人社団 日漢堂 サンライズ大浜

☎ 054-282-2839 ☎ 054-281-8245

[所在地] 〒422-2115 静岡市駿河区西島528

●開設/平成8年5月 ●入所定員/121名 ●通所定員/20名



7 社会福祉法人 楽寿会 楽寿

☎ 054-296-1112 ☎ 054-296-1313

[所在地] 〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11

●開設/平成8年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名



8 医療法人社団 静知会 こみに

☎ 054-209-7000 ☎ 054-209-7007

[所在地] 〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16

●開設/平成9年4月 ●入所定員/186名 ●通所定員/75名



9 医療法人社団 正心会 ケアセンターゆうゆう

☎ 054-625-0321 ☎ 054-625-0322

[所在地] 〒425-0052 焼津市田尻4

●開設/平成9年4月 ●入所定員/97名 ●通所定員/100名



10 医療法人社団 平成会 カリタス・メンテ

☎ 054-643-1266 ☎ 054-643-1289

[所在地] 〒426-8662 藤枝市水上123-1

●開設/平成9年5月 ●入所定員/50名 ●通所定員/20名



1 医療法人社団 恒仁会 ケアセンター瀬名

☎ 054-264-2221 ☎ 054-264-8100

[所在地] 〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5

●開設/平成元年6月 ●入所定員/200名 ●通所定員/60名



2 医療法人社団 清仁会 あかつきの園

☎ 054-334-5533 ☎ 054-334-1121

[所在地] 〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1

●開設/平成3年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/10名



3 医療法人社団 清秀会 ケア・センター ひまわり

☎ 054-336-3033 ☎ 054-336-3035

[所在地] 〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34

●開設/平成5年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名



4 医療法人社団 緩和会 焼津ケアセンター

☎ 054-623-8111 ☎ 054-623-8116

[所在地] 〒425-0062 焼津市中根新田1315

●開設/平成7年3月 ●入所定員/150名 ●通所定員/63名



5 社会医療法人 駿甲会 コミュニティケア高草

☎ 054-627-5588 ☎ 054-627-9988

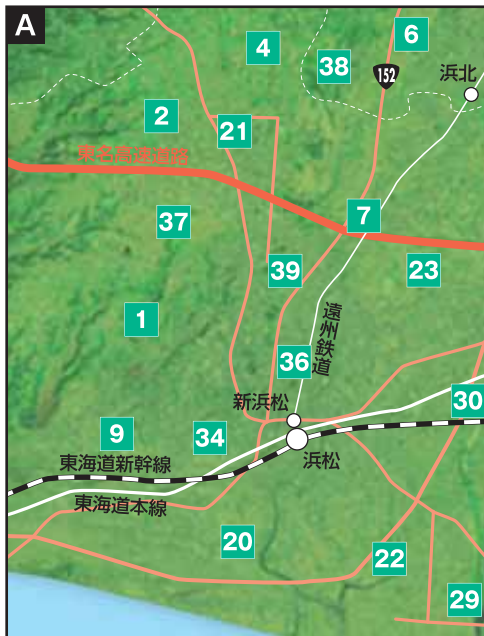
[所在地] 〒425-0005 焼津市方ノ上358-1

●開設/平成8年4月 ●入所定員/84名 ●通所定員/115名



23 医療法人社団 聖雄会 かりん ☎ 054-268-6666 📠 054-268-6660 [所在地] 〒421-0105 静岡市駿河区宇津ノ谷1-1 ●開設/平成17年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		11 医療法人社団 聖稜会 グリーンヒルズ藤枝 ☎ 054-639-1234 📠 054-639-1255 [所在地] 〒426-0138 藤枝市宮原420-1 ●開設/平成10年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名	
24 医療法人社団 宝徳会 ケアセンター池田の街 ☎ 054-267-2211 📠 054-267-2700 [所在地] 〒422-0805 静岡市駿河区池田185-1 ●開設/平成17年4月 ●入所定員/110名 ●通所定員/60名		12 医療法人社団 共生会 エコトープ ☎ 0547-45-0111 📠 0547-45-0112 [所在地] 〒428-0007 島田市島534-1 ●開設/平成10年10月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名	
25 医療法人財団 湖聖会 鶴舞乃城 ☎ 054-361-1234 📠 054-361-0800 [所在地] 〒424-0114 静岡市清水区庵原町3158 ●開設/平成19年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名		13 医療法人社団 健社会 アポロン ☎ 0547-34-2000 📠 0547-34-2358 [所在地] 〒427-0047 島田市中満町1714-1 ●開設/平成11年4月 ●入所定員/120名 ●通所定員/45名	
26 医療法人 志太会 ユニケア岡部 ☎ 054-667-5555 📠 054-667-3623 [所在地] 〒421-1131 藤枝市岡部町内谷1473-3 ●開設/平成15年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名		14 医療法人社団 博恵会 アリス草薙 ☎ 054-347-6511 📠 054-347-6565 [所在地] 〒424-0886 静岡市清水区草薙424-7 ●開設/平成11年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/90名	
27 医療法人社団 アル・アンド・オー エスコートタウン静岡 ☎ 054-267-1010 📠 054-267-1060 [所在地] 〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1 ●開設/平成19年9月 ●入所定員/120名 ●通所定員/70名		15 医療法人社団 秀慈会 萩の里 ☎ 054-236-1155 📠 054-236-1177 [所在地] 〒422-8018 静岡市駿河区西大谷12-5 ●開設/平成12年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/85名	
28 医療法人財団 湖聖会 星のしずく ☎ 054-200-5555 📠 054-200-5558 [所在地] 〒420-0805 静岡市葵区城北87 ●開設/平成24年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		16 医療法人社団 あけぼの はるかぜ ☎ 0548-52-7771 📠 0548-52-7781 [所在地] 〒421-0514 牧之原市菅ヶ谷1240-1 ●開設/平成12年3月 ●入所定員/80名 ●通所定員/40名	
29 医療法人 杏林会 リハビリパーク駿府 ☎ 054-266-3611 📠 054-266-3613 [所在地] 〒420-0873 静岡市葵区籠上8-6 ●開設/平成24年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名		17 静岡県厚生農業協同組合連合会 きよみの里 ☎ 054-369-7700 📠 054-360-4100 [所在地] 〒424-0203 静岡市清水区興津東町1829 ●開設/平成12年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名	
30 医療法人社団 健寿会 もくれん ☎ 054-366-5101 📠 054-366-5102 [所在地] 〒424-0104 静岡市清水区草ヶ谷字クツソウヶ谷624-22 ●開設/平成22年4月 ●入所定員/158名		18 医療法人社団 静寿会 葵の里 ☎ 054-257-2281 📠 054-268-5221 [所在地] 〒421-0135 静岡市駿河区小坂376-1 ●開設/平成12年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
31 医療法人 徳州会 あじさい ☎ 0548-23-0231 📠 0548-23-0235 [所在地] 〒421-0421 牧之原市細江3208-1 ●開設/平成26年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/25名		19 医療法人社団 松英会 あみ ☎ 054-206-1777 📠 054-206-1717 [所在地] 〒421-2109 静岡市葵区福田ヶ谷73-2 ●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
32 医療法人 徳洲会 静岡徳洲苑 ☎ 054-277-3300 📠 054-277-3305 [所在地] 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷811-15 ●開設/平成24年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/18名		20 社会医療法人 駿甲会 コミュニティケア吉田 ☎ 0548-34-5577 📠 0548-34-5578 [所在地] 〒421-0302 榛原郡吉田町川尻1700-1 ●開設/平成15年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名	
33 医療法人 杏林会 リハビリパーク清水 ☎ 054-367-0101 📠 054-367-0115 [所在地] 〒424-0005 静岡市清水区石川135 ●開設/平成28年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名		21 医療法人社団 平成会 マインド ☎ 054-643-3601 📠 054-643-3602 [所在地] 〒426-0075 藤枝市瀬戸新屋487-2 ●開設/平成15年11月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名	
34 社会医療法人 駿甲会 コミュニティケア大井川 ☎ 054-625-8560 📠 054-625-8561 [所在地] 〒421-0216 静岡県焼津市相川1577-1 ●開設/平成30年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名		22 医療法人社団 凜和会 フォレストア藤枝 ☎ 054-647-3833 📠 054-647-3831 [所在地] 〒426-0033 藤枝市小石川町2-8-13 ●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/53名	

会員施設一覧 西部地区



9	医療法人社団 和恵会 入野ケアセンター ☎ 053-440-1200 ☎ 053-440-1201 [所在地] 〒432-8061 浜松市中央区入野町 6417 ●開設/平成7年10月 ●入所定員/150名 ●通所定員/80名	
10	医療法人社団 木野記念会 於保老健センター ☎ 0538-58-2550 ☎ 0538-58-2552 [所在地] 〒437-1216 磐田市一色26 ●開設/平成8年4月 ●入所定員/80名 ●通所定員/20名	
11	医療法人社団 川口会 エバークリーン掛川 ☎ 0537-21-0550 ☎ 0537-21-0551 [所在地] 〒436-0043 掛川市大池680 ●開設/平成8年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
12	社会福祉法人 天竜厚生会 さいわい ☎ 053-583-1156 ☎ 053-583-1258 [所在地] 〒431-3492 浜松市天竜区渡ヶ島221 ●開設/平成9年6月 ●入所定員/127名 ●通所定員/55名	
13	医療法人社団 藤友五幸会 おおふじ五幸ホーム ☎ 0538-38-5511 ☎ 0538-38-5656 [所在地] 〒438-0002 磐田市大久保508-3 ●開設/平成10年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
14	医療法人社団 愛慈会 さくらの苑 ☎ 0538-33-3800 ☎ 0538-33-3802 [所在地] 〒438-0074 磐田市二之宮字仙水1162 ●開設/平成10年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/39名	
15	医療法人社団 学修会 神子の園 ☎ 0537-20-0080 ☎ 0537-20-0081 [所在地] 〒436-0084 掛川市逆川100 ●開設/平成11年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
16	医療法人社団 清怜会 袋井ケアセンター ☎ 0538-49-4911 ☎ 0538-49-4912 [所在地] 〒437-0003 袋井市萱間933-1 ●開設/平成11年7月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	

1	医療法人社団 一穂会 西山ウエルケア ☎ 053-485-5500 ☎ 053-485-6130 [所在地] 〒432-8001 浜松市中央区西山町 411-2 ●開設/平成元年3月 ●入所定員/148名 ●通所定員/32名	
2	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 三方原ベテルホーム ☎ 053-436-6600 ☎ 053-439-0055 [所在地] 〒431-1304 浜松市浜名区細江町中川 7421-1 ●開設/平成3年4月 ●入所定員/150名 ●通所定員/50名	
3	医療法人社団 早友会 みっかび東介護老人保健施設 ☎ 053-524-2000 ☎ 053-524-1152 [所在地] 〒431-1404 浜松市浜名区三ヶ日町宇志 34-1 ●開設/平成4年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名	
4	医療法人社団 長啓会 都ケアセンター ☎ 053-428-3331 ☎ 053-428-3332 [所在地] 〒431-2102 浜松市浜名区都田町 7555-47 ●開設/平成5年3月 ●入所定員/405名 ●通所定員/20名	
5	医療法人社団 恵成会 なかよし ☎ 0538-34-6543 ☎ 0538-37-7498 [所在地] 〒438-0838 磐田市小立野132 ●開設/平成6年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/100名	
6	医療法人社団 明徳会 エーデルワイス ☎ 053-585-1500 ☎ 053-585-1501 [所在地] 〒434-0041 浜松市浜名区平口 2405 ●開設/平成6年9月 ●入所定員/150名 ●通所定員/60名	
7	医療法人社団 岡崎会 ハイマート有玉 ☎ 053-434-7877 ☎ 053-435-4987 [所在地] 〒431-3122 浜松市中央区有玉南町 1436 ●開設/平成7年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名	
8	医療法人社団 白梅会 白梅ケアホーム ☎ 053-485-7711 ☎ 053-485-7712 [所在地] 〒431-1112 浜松市中央区大人見町 3011-1 ●開設/平成7年4月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名	

29 医療法人社団 藤友五幸会 五洋の里 ☎ 0538-67-1755 📠 0538-67-1756 [所在地] 〒438-0234 磐田市掛塚3190-1 ●開設/平成18年7月 ●入所定員/110名 ●通所定員/45名		17 医療法人 宝美会 まんさくの里 ☎ 053-572-3911 📠 053-572-3939 [所在地] 〒431-0422 湖西市岡崎1353-1 ●開設/平成13年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名	
30 医療法人社団 拓己会 長鶴の郷 ☎ 053-423-2700 📠 053-423-2711 [所在地] 〒435-0031 浜松市中央区長鶴町 290 ●開設/平成19年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/45名		18 御前崎市 はまおか ☎ 0537-86-8822 📠 0537-85-7436 [所在地] 〒437-1688 御前崎市池新田2070 ●開設/平成13年5月 ●入所定員/50名 ●通所定員/55名	
31 社会福祉法人 大善福祉会 あらたま ☎ 053-582-3211 📠 053-582-3333 [所在地] 〒434-0004 浜松市浜北区宮口 3152 ●開設/平成18年9月 ●入所定員/80名 ●通所定員/20名		19 医療法人社団 藤花会 花平ケアセンター ☎ 053-542-4187 📠 053-542-4087 [所在地] 〒431-2211 浜松市浜南区引佐町花平 708 ●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
32 医療法人社団 恵成会 えいせい掛川介護老人保健施設 ☎ 0537-20-1611 📠 0537-29-1116 [所在地] 〒436-0342 掛川市上西郷8021 ●開設/平成19年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		20 医療法人社団 和恵会 白脇ケアセンター ☎ 053-444-3131 📠 053-444-3132 [所在地] 〒430-0846 浜松市中央区白羽町 1424 ●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名	
33 医療法人社団 早友会 クロヤナギ介護老人保健施設 ☎ 053-524-1000 📠 053-524-1230 [所在地] 〒431-1404 浜松市浜南区三ヶ日町宇志 34-1 ●開設/平成21年8月 ●入所定員/19名 ●通所定員/40名		21 医療法人社団 東医会 みかたはら介護老人保健施設 ☎ 053-438-5886 📠 053-438-5887 [所在地] 〒433-8105 浜松市中央区三方原町 675-6 ●開設/平成19年2月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
34 医療法人社団 白梅会 白梅県居ケアホーム ☎ 053-458-2100 📠 053-458-2101 [所在地] 〒432-8036 浜松市中央区東伊場 2-14-35 ●開設/平成24年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		22 医療法人社団 山川会 ケアセンター芳川 ☎ 053-426-0003 📠 053-426-0004 [所在地] 〒430-0838 浜松市中央区黒野町 24 ●開設/平成15年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名	
35 医療法人社団 光久会 はるのケアセンター ☎ 053-989-1500 📠 053-989-1502 [所在地] 〒437-0605 浜松市天竜区春野町気田776-5 ●開設/平成24年4月 ●入所定員/60名 ●通所定員/30名		23 医療法人社団 緑生会 天王介護老人保健施設 ☎ 053-423-1070 📠 053-423-1072 [所在地] 〒435-0051 浜松市中央区市野町 2495 ●開設/平成15年8月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名	
36 医療法人社団 あすま会 平安の森 ☎ 053-476-1156 📠 053-401-0011 [所在地] 〒430-0918 浜松市中央区八幡町 181 ●開設/平成24年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名		24 医療法人社団 あおば会 あおばケアガーデン ☎ 0537-48-0002 📠 0537-48-0024 [所在地] 〒437-1302 掛川市大淵4345 ●開設/平成16年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/80名	
37 医療法人社団 和恵会 みずほケアセンター ☎ 053-414-2220 📠 053-414-2225 [所在地] 〒433-8118 浜松市中央区高丘西 2-32-36 ●開設/平成25年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名		25 社会福祉法人 茗翠会 風の杜 ☎ 0538-85-1121 📠 0538-85-1171 [所在地] 〒437-0214 周智郡森町草谷104-1 ●開設/平成17年4月 ●入所定員/80名 ●通所定員/30名	
38 医療法人社団 友成医院 介護老人保健施設 きらりの森 ☎ 053-589-3331 📠 053-589-3332 [所在地] 〒434-0046 浜松市浜南区染地台 3-29-20 ●開設/平成26年4月 ●入所定員/100名		26 医療法人社団 晴和会 さわだの庄 ☎ 0537-35-8889 📠 0537-35-8880 [所在地] 〒439-0037 菊川市西方5511 ●開設/平成17年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名	
39 医療法人社団 心 介護老人保健施設 坂の上ろうけん曳馬野 ☎ 053-416-2015 📠 053-416-2025 [所在地] 〒433-8123 浜松市中央区幸 4-36-3 ●開設/平成27年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名		27 医療法人社団 白梅会 白梅豊岡ケアホーム ☎ 0539-62-1601 📠 0539-62-1606 [所在地] 〒438-0126 磐田市下神増183-1 ●開設/平成18年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名	
40 医療法人社団 綾和会 介護老人保健施設 桔梗の丘 ☎ 0537-23-7110 📠 0537-23-7116 [所在地] 〒436-0030 掛川市杉谷南1丁目1-1 ●開設/平成27年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/65名		28 医療法人社団 紅紫会 ナーシングホームオンフルール ☎ 0538-45-0080 📠 0538-45-0081 [所在地] 〒437-0023 袋井市高尾1439-3 ●開設/平成18年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名	

第20回 東海・北陸ブロック 老健大会 三重

令和8年5月28日(木)・29日(金)
三重県総合文化センター 中ホール他



写真：三重フォトギャラリー

『介護老人保健施設における叡智の総和 ～地域包括ケアシステムの再構築～』

老健 しずおか

一般社団法人
静岡県老人保健施設協会機関誌
第30号

表紙写真 堂ヶ島 三四郎島



INDEX

- 1 ご挨拶 一般社団法人 静岡県老人保健施設協会 会長 小出 幸夫
- 2 ご挨拶 静岡県健康福祉部福祉長寿局(福祉指導課長) 鈴木 立子

3 KEY WORD をちょっと解説！

特集

5 第19回 東海・北陸ブロック 老健大会 富山

7 第36回 全国介護老人保健施設大会 山口

11 高齢者施設従事者研修会 高齢者ケアで心がけたい感染症の予防

部会報告

- 15 防災部会
- 17 看護・介護部会
- 19 栄養部会
- 21 リハビリテーション部会
- 23 通所リハビリ部会

- 25 事業報告 令和7年度
- 26 年間報告 令和8年度

会員施設

- 27 東部地区
- 29 中部地区
- 31 西部地区



第37回



全国介護老人保健施設大会

栃木

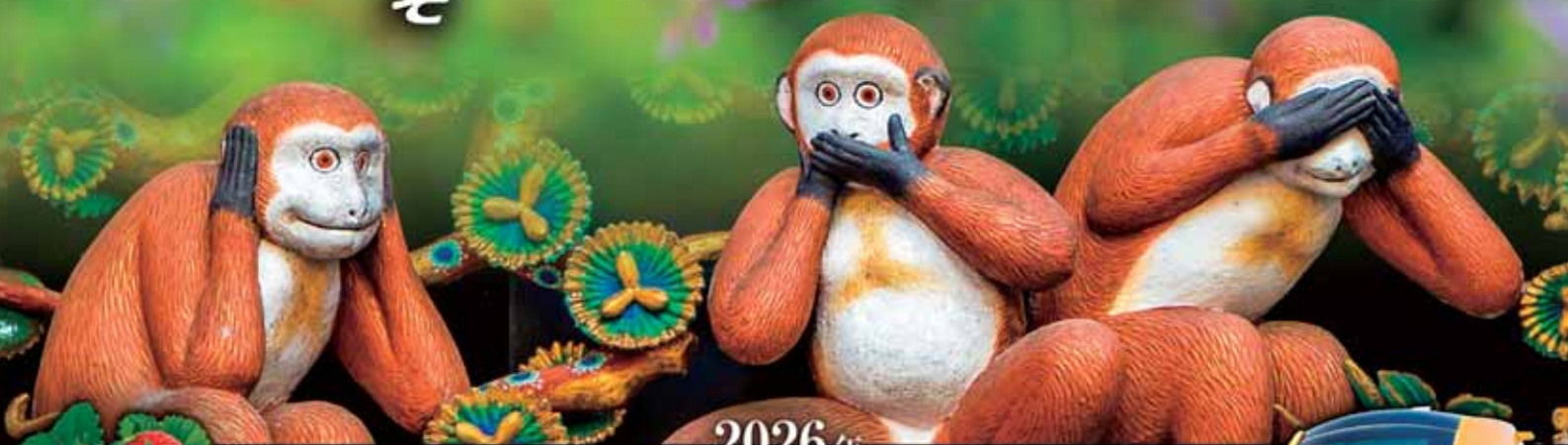
聞見
いってみっぺ
んべ

言
ってみるべ

三猿ではいられない今こそ

老健の善を知り

心を語り未来を拓こう



2026年

10月22日(木) ▶ 23日(金)

【会場】ライトキューブ宇都宮 マロニエプラザ 他

【大会会長】高木邦格 公益社団法人全国老人保健施設協会理事 栃木県支部長

【主催】公益社団法人全国老人保健施設協会

大会
事務局

第37回全国介護老人保健施設大会 栃木 大会事務局
(公益社団法人全国老人保健施設協会 栃木県支部)
〒329-2763 栃木県那須塩原市井口533-4(マロニエ苑内)
TEL:0287-36-6622 FAX:0287-36-8510



介護老人保健施設 ＝ 理念と役割 ＝

「理念」

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、
生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
また、家族や地域の人びと・期間と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

「5つの役割と機能」

I 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。
そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

II リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、
集中的な維持期リハビリテーションを行います。

III 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、他職種からなるチームケアを行い、
早期の在宅復帰に努めます。

IV 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを
提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

V 地域に根差した施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。
市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。
また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

一般社団法人

静岡県老人保健施設協会

西山ウエルケア 内

〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町411-2

TEL.053-485-5500 FAX.053-485-6130

www.rouken-shizuoka.jp

